

沖縄島北部行動計画に係る完了事業一覧（平成28年度までに完了した事業）

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
4) 緩衝地帯や周辺地域における産業との調和						
2 野生鳥獣の保護及び地域社会との共存	環境省	平成20年度ノグチゲラによる柑橘類食害実態把握調査	沖縄島北部3村全域	野生鳥獣と地域社会の共存を図るため、野生鳥獣の適切な保護管理による生物多様性の確保を行うとともに、農林業への悪影響や生活環境の被害の防止に必要な取組みを行う。	平成20年度	
5) 適正利用とエコツーリズム						
1 世界遺産に関する観光ビジョンの策定による持続可能な観光の推進	大宜味村	大宜味村第5次総合計画の策定	大宜味村全域	世界自然遺産登録を目指すことを踏まえ、観光における実動的人材育成をはじめ、観光受入体制拡充や既存施設を活用した取組などの観光振興推進を含む、総合計画を策定する。	平成28年度	
	東村（企画観光課）	東村第2次観光振興計画の策定	東村	世界自然遺産登録を想定して、新たな方向性の設定、施策の基本方向などを「東村第2次観光振興計画」のなかで位置づけた。 ＜東村観光振興計画策定委員会＞	平成28年度	
2 体験・滞在・交流による観光スタイルの確立	沖縄県（村づくり計画課）	農林水産業活性化拠点整備事業	本島モデル体制 ・国頭村 ・東村 ・大宜味村	○農山漁村地域における都市農村交流の需要に対応するため、継続的かつ計画的な受入れが可能な広域の交流拠点体制の構築、育成、取組の支援を行う。	不明	
4 適切な利用コントロールの実施及び利用ルールの設定・遵守	環境省	・平成19年度やんばる地域の自然環境に関する普及啓発資料作成業務 ・ノグチゲラ保護増殖事	沖縄島北部3村全域	遺産価値（生物多様性と生態系）を保全するため、以下の取組み等を実施することで自然利用に伴う負荷の低減を図る。 ○利用分散のための周辺地域	不明	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
		業(ノグチゲラ観察ルール)		への利用誘導 ○希少種の観察ルール等の検討・普及啓発		
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	東村(企画観光課)	グリーンツーリズムインストラクター要請スクール	東村全域	インストラクターに必要な基礎知識などを学ぶ養成講座を行った。	不明	
		東村自然体験指導者等養成事業	東村全域	自然体験活動指導者の養成	不明	
6 施設整備による負荷の低減と適正利用の推進	沖縄県(自然保護課)	自然環境整備事業	国頭村 大宜味村	自然公園内において、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図るため、遊歩道、休憩所、公衆トイレなどの整備を行う。	不明	
	東村(企画観光課)	慶佐次湾ヒルギ林周辺の公園整備事業	慶佐次地域	国指定の天然記念物である慶佐次湾のヒルギ林の保護と利活用を目的に遊歩道や駐車場などを整備。	不明	
		平成20年度 持続可能な観光地づくり支援事業	慶佐次地域	東村ふれあいヒルギ公園内の公衆トイレが容量超過のため、悪臭が発生し周辺環境へ悪影響をあたえる問題があったので保全と利用のバランスをとりながら活用していくために観光案内所を整備した	平成20年度	
		東村観光施設機能強化事業	東村	慶佐次川でのカヌー体験の人気がある一方で慶佐次川での利用集中による環境負荷や混雑感から利用者の満足度低下が懸念されていたので負荷の軽減を図るため、新たなフィールドの創出を行った。	平成28年度	